

歯科診療所に高野歯科医師 余別駐在所に福岡巡查部長 が着任



▲高野 秀喜 歯科医師 (48 歳)

4月5日より歯科診療所の新しい歯科医師、高野秀喜先生(48歳)が診療に当たっています。

高野先生は、九州大学歯学部を卒業後、札幌市や余市町、浜中町の医院での勤務を経て積丹町歯科診療所に着任しました。

妻の弥生さんと積丹町での新しい暮らしをスタートさせた高野先生は「町民の皆様の歯の健康の維持に役立てるような診療を行っていききたい。積丹町は前任地に続いて自然豊かな港町、積丹岳など趣味の登山も楽しみにしています。」と話してくれました。

4月1日付けで、余別駐在所に福岡勇磨巡查部長(29歳)が着任されました。

3月まで稚内警察署刑事課鑑識係に配属されていた福岡巡查部長は妻のさおりさん、長女の咲心ちゃん(2歳)の3人で赴任。

今回初めての駐在所勤務について「少しでも早く地域の皆さんに溶け込めるよう頑張っていきたい。まちで見かけたら気軽に声をかけていただけたら嬉しいです。」と抱負を話してくれました。



▲福岡 勇磨 巡查部長 (29 歳)

「町ぐるみで誘致した当町初の老人ホーム」。オープンが心待ちにされていた社会福祉法人よいち福祉会が運営する地域密着型特別養護老人ホーム「ゆうるり」は、3月25日から27日までの3日間で延べ185人が参加した内覧会を経て、予定通り4月1日にオープンし、4月22日現在で11名の入所者が施設内での生活を楽しんでいます。

今年度は駐車場や連絡通路、外周園路などの外構整備工事が予定されています。

また、同施設では、入所申込のほか、介護職員や看護師を随時募集しています。詳細はお問



▲施設内で談笑する入所者と職員

社会福祉法人よいち福祉会

積丹町地域密着型特別養護老人ホーム

ゆうるり

ふるさとに迎えられて

【問い合わせ先】
社会福祉法人よいち福祉会
積丹町地域密着型特別養護老人ホーム「ゆうるり」
TEL 48-5201

自主的な地域づくり活動を支援

まちづくり活動支援事業補助金活用事例紹介

(H27) 観光情報交流施設整備事業

(株)積丹観光振興公社

町では、一般寄付金やふるさと納税寄附金、(財)民間都市開発推進機構からの拠出金、国の過疎対策事業債などにより積み立てた基金をもとに「まちづくり活動支援補助金」で、町民の皆さんによる自主的な地域づ

くり活動を支援しています。今回は、(株)積丹観光振興公社が建設した「観光情報交流施設整備事業」を紹介します。この事業は、水中展望船「二ユーしゃこたん号」待合所の常設券売所にイベント情報の提供やポスターの掲示等が

可能な観光情報交流スペースを併設した交流施設を建設し、地元農水産物や特産品等のPRなど、当町の基幹産業の振興に役立てるとともに、観光客や町民が休憩・交流できる施設としても幅広く活用されることで、地域の活性化と振興への貢献が期待されます。

この施設の建設総事業費約2,137万円のうち、892万円の補助金が活用されています。

4月12日には今シ

ズンの水中展望船の安全運航を願う「安全祈願祭」が挙行され、松井町長や佐藤議長も参列する中、新たな施設のお披露目と、竣工を記念した桜の木の記念植樹が行われました。杉山社長は「本補助金の活用が出来たことに感謝しています。新しい事務所と券売所を兼ね備えたこの施設の建設は長い間の私達の念願でした。今後は集約された施設で、役員一同更に営業努力を行い、当町の新しい観光の拠点として頑張っていきたいです。近くに來られたら是非、見に来て下さい。」と今後の抱負を話していました。



▲記念植樹を行う杉山社長

北後志5町村・札幌地区トラック協会

「災害時等における緊急・救援輸送に関する協定」締結

3月28日、余市町役場で「災害時等における緊急・救援輸送に関する協定」締結式が行われ、積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村の5町村長と井川昌寛札幌地区トラック協会北後志支部長が協定書への署名を行いました。

この協定は、北後志5町村と札幌地区トラック協会が、地震や津波、風水害等が発生、または発生するおそれがある場合に必要な物資の緊急・救援輸送に関する協定を定めたもので、これにより、北後志地域の災害への備えがさらに強化されます。



▲(左から) 嶋余市町長、松井町長、本間古平町長、井川札幌地区トラック協会北後志支部長、赤松赤井川村長、佐藤仁木町長